

11月・12月の管理ポイント

平成27年11月5日



株式会社 トモグリーンケミカル

今年の10月は、大陸から移動してきた高気圧の影響で全国的に多照となったため、夏のダメージの回復、冬に向けての養分貯蔵といった面で、貴重な日差しとなったのではないのでしょうか？しかし、この天気でグリーン乾燥が急激に進行している恐れがあります。秋冬の浸透剤定期散布で、ドライスポット発生を未然に防ぎましょう。

ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第138号



グリーンメカ

貯蔵糖類を確保して来春の萌芽期を乗り切る...

11月は、生育期のため糖類消費が激しい季節です。

曇天が続く日は、光合成が不十分で、折角の施肥が完全にエネルギーにかえられません。

グリーンメカを処理して糖類を補給し、12月の休眠期に備えましょう。

貯蔵糖類が十分にあれば、耐寒性・耐凍性が增强され、来春の萌芽期は均一に芽出しします。

使用量：5~10ml/m² 1%以上散布



プライマーセレクト

強風によるグリーン表面の乾燥に...

強風による乾燥の厳しい11月は、油断するとすぐにグリーン表面が乾燥しすぎてしまいます。

プライマーセレクトを処理することによって、均一な水分分布を目指し、乾燥害からグリーンを守りましょう。

使用量：1~2ml/m² 200ml~1L/m²散布 散布回数 1ヶ月~1ヶ月半に1回



サッチ・マネージャー

サッチ層の除去には...

本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌(野生株)を選抜した微生物資材です。16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されており、様々な土壌環境にも適用できるように配合されています。製剤1g当たり約400億個の菌が配合されており、土壌中でも安定した効果が期待できます。

低価格に設定されておりますので、ラフ、FWなどの大面積散布にもご利用して頂けます。

使用量：ラフ・FW 0.1~0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量0.2~0.5l/m²



カラーメイトF-20

リーズナブルな価格で!!

カラーメイトF-20は、従来の着色剤に比べ季節感を重視した自然な色調(ダークグリーン)で、落ち着きのある風合いに仕上がります。物理性(固着性、速乾性、色持ち、色乗りetc)や安全性にも優れ、**お求めやすい価格設定**なので、フェアウェイなど広範囲でご使用いただける自信作です。

使用量：50~100倍 100~200ml/m²散布



リーフシールド

芝生の耐乾性・耐寒性を高めるには...

リーフシールド処理により葉面はコーティングされ、蒸散が抑えられます。葉面温度が下がるのを軽減し、また乾燥からも守ります。着色剤との組み合わせにより、葉面温度が上昇し、霜が早く溶けます。

使用量：200倍 150~200ml/m²散布

コガネムシ類芝草害虫

10月21、22日東京都調布市の味の素スタジアムにて、2015ジャパンターフショーが開催されました。当社もブースを出展し、ブース内イベントとして「芝草害虫クイズ」を行ったところ、予想以上のご好評をいただきました。そこで今回は「芝草害虫クイズ」でも出題したコガネムシ類芝草害虫の成虫についてご紹介します。種類ごとの生態などを把握しておけば、より効率的な防除が可能となるでしょう。



←ウスチャコガネ

成虫の発生時期は4~5月と、最も早いコガネムシのひとつ。晴天の日中、地表面近くを飛び回る。

ヒラタアオコガネ→

ウスチャコガネとほぼ同時期に成虫が発生。こちらとも天気の良い日中に地表近くをよく飛ぶ。濃緑色の体色が特徴。



←コイチャコガネ

全身に細かく毛が生えた茶色のコガネムシ。グリーン土壤に産卵のため侵入し、脱出する際に土を盛り上げる。

マメコガネ→

成虫は野菜、雑草など広く摂食する種で、果樹等の広葉樹の葉も好む。成虫は黄色い色に誘引される。



←セマダラコガネ

前翅（はね）のマダラ状の斑紋が特徴的なコガネムシ。芝草地だけで繁殖を繰り返すことができる種で、成虫はほとんど摂食せず、交尾・産卵するのみ。

ドウガネブイブイ→

成虫は夜行性。芝草害虫となるコガネムシの中ではサイズが大きく食欲も旺盛。グリーン土壤に侵入されると被害が深刻化する。



←アオドウガネ

ドウガネブイブイの近縁種。もともとは南方系の種だが、最近では分布を北に広げ、関東以南ではドウガネブイブイより多く見られる地域もある。

